



安全・安心な県民生活の実現に向けて、県の姿勢をたずねる松田議員

平成25年度当初予算案を審議する、第317回定例県議会（2月19日から3月25日まで）が開かれ、2月25日に松田いっせい議員が代表質問に登壇しました。中では、県民の安全・安心な暮らしを守るための、さまざまな施策と喫緊の課題について、県の姿勢をたずねるとともに、持論を展開しました。そこで、主な内容を紹介します。

安全・安心の確保へ日々全力投球！

県議会
代表質問



県民の夢と願いを形に



神谷ダム太陽光発電施設完成イメージ

■ 再生可能エネルギー導入の目標値示せ

松田議員は、本県のエネルギー資源の潜在力に期待が寄せられている中、安全な再生可能エネルギーの導入拡大について質問。

金澤副知事は「6月を目途に数値目標や必要な施策を定めた県独自の対策方針をまとめる」と総合的な取り組みを約束しました。

■ 子ども医療費助成を中学3年まで拡大

強く要望してきた子ども医療費助成事業の通院への助成が小学6年生から義務教育終了まで拡充されることになり、全市町での円滑実施を求めました。



井戸知事は「7月までの実施に向け、市町へ積極的に働きかけていく」と答えました。



お母さんたちと意見交換



借上県営住宅入居者からの要望を聞く松田議員

■ 借上県営住宅住居者への対応は

UR借上県営住宅入居者への対応を質問。井戸知事は継続入居基準に関して「①一定の年齢以上の方がいる②要介護3以上の認定者や重度障害者がいる③これらに準ずる要介護者や障害を持っている方」と述べ、一棟買い取りを含めきめ細かな対応をするとしました。

【皆様の声を県政へ一ライフサポーター】

いっせい

兵庫県議会議員
県議団幹事長

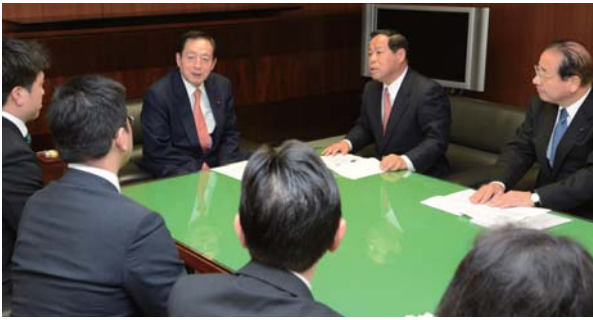
松田一成

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1 県庁内

TEL (078) 362-3727

皆さんの声を県政に反映



太田国交省に神戸空港の運航規制緩和をはじめ6項目にわたり要望しました

太田国交相に緊急要望書を提出

県議団の幹事長を務める松田議員は会派議員とともに、1月21日、上京し太田昭宏国土交通大臣に緊急要望を行いました。

道路・橋梁の整備・活用をはじめ6項目にわたって要望。特に、神戸空港の機能強化のための運行時間の延長、発着枠の拡大などの運航規制緩和や神戸港の水深深岸壁整備への集中投資などを強く求めました。



©NEW KOMETTO

地域医療活性化センター開設

医師人材育成を支援



地域医療に不可欠な医師の人材育成・派遣の拠点として神戸大学が地域医療活性化センター(仮称・神戸市兵庫区荒田)を平成26年度に開設。県が支援します。

梶屋厚労副大臣に要望

4項目にわたり尽力求める



1月21日、梶屋厚労副大臣(公明党)に予算編成に関する要望書を提出。認定こども園の整備や障害者総合支援事業基金の創設など4項目にわたり尽力を求めました。

科学捜査支援センターを設置

犯罪捜査を迅速化

客観的証拠による犯罪捜査の迅速化を図るため、証拠物件の分析・保管、DNA型鑑定機能などを集約した科学捜査支援センター(仮称)が神戸市兵庫区(旧県税事務所)に新設されます。敷地面積1,624・18㎡で平成26年度に供用開始される予定です。

理化学研究所を視察

再生医療実用化求める



2月13日に神戸市中央区の理化学研究所を視察。それを基に県会で再生医療実用化への支援を要望。県は、補助金等での支援の考えを示しました。

愛する地元兵庫区の元気で魅力あふれるまちづくり、日々全力投球を続ける松田議員。公明党・県民会議県議団の幹事長として現場第一主義を掲げ、地元域内はもちろん広大な県内の隅々にまで足を運んでいます。そこで、松田議員の活動の「コマ」と成果を紹介します。



詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.matsuda44.net/>

兵庫県議会議員
県議団幹事長

いっせい
松田一成

twitter
issei44

